

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	15110	電話	042(770)6600
担当部課名	生涯学習部	橋本図書館	奉仕	係
事務事業名	図書等資料充実経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	12年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

図書館法・市図書館条例、市図書館条例施行規則
------------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
橋本図書館蔵書計画に基づき、図書資料の充実を図るとともに、市民(利用者)への館外貸出及び館内利用に供する。	市民および在勤・在学者・広域利用、相互利用締結住民
	対象数 約616,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
図書資料等を購入し資料の充実を図った。 ・図書購入冊数 22,205冊 ・図書蔵書冊数 161,000冊 ・貸出者数 314,000人 ・図書貸出冊数 746,000冊 ・利用登録者数 33,000人 ・開館日数 290日	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	リクエスト本の蔵書率	リクエスト本のうち図書館が所蔵していた冊数/リクエスト本総数×100 18,135冊/22,319冊×100	購入図書が利用者の要望等に適合しているかをみる。		76	81	83	83
	貸出回転率	貸出冊数/蔵書冊数 745,923冊/161,385冊	蔵書数に対する貸出回転率を把握することにより、蔵書図書が効率的に利用されているかをみる。	0	3	5	4	4

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
			110,208	61,316	51,363	51,363
	人員・時間数		18,246H	14,904H	23人	23人
	人件費		70,309	56,127	61,227	61,227
	その他経費					
	合計	0	180,517	117,443	112,590	112,590
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	0	611,000	616,000	616,000	616,000
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	0.3	0.2	0.2	0.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	成果指標および活動指標ともに目標値を達成しており、利用者ニーズを満たしている。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 利用者が求めている資料を出来る限り収集している。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	利用者の知識等の向上に資する上で有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	分担収集等手法の検討により、橋本図書館に見合った資料収集を検討する。
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象は市民全員であるが、今後更に図書館利用率の拡大を図る必要がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 図書購入費の有効且つ効率的な運営方法を研究する必要がある。このため、各館における分担収集の研究や、県内図書館とのネットワークを有効に活用する必要がある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 利用者の図書館に対する期待は大きい。財政事情の厳しい中利用者の要望にこたえるためには、分担収集等による図書資料の確保、相互利用制度の拡充、IT時代に適合した図書館運営を研究していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--